

事業概要

再造林率低下に伴い、森林が有する多面的機能の低下が懸念されている中、低コストでかつ早期天然生林化を目的に、伐採後の未植栽地に広葉樹の種子をドローンにて散布する実証実験を実施。5年後の事業展開を目指す。（宮崎県西臼杵3町共同事業）

事業の成果

令和5年度は国の機関である「森林総合研究所」に協力をいただき、「ドローンで散布できるサイズ」、「西臼杵地区内で採取可能（安定した種子調達のため）」、「シカの不嗜好性植物」、「発芽・定着・成長が早い」等の条件で散布候補12種子を選定し、屋内と屋外での発芽試験を実施した。

【事業内容】 散布種子の選定、発芽試験、更新阻害状況（シカ被害）の状況分析等

【事業費】 100千円 【コスモス薬品寄付活用額】 100千円

事業の流れ

R5...種子の選定

R6...発芽試験、ペレットの製作

R7...種子決定、散布実験、散布装置(ドローン)改良

R8...散布後調査、各種改良

R9...散布後調査、最終調整

事業状況



採取したウリハダカエデ
(上) とヒメシャラ(下)
の種子